

まん延防止等重点措置適用指定の解除？・オリンピックとは

皆弥生3月、春ですね。雪解けが待ち遠しい日々ですが……。
今回もまたコロナ関係からです。

先月下旬尾花沢でも保育園でのクラスターが発表されました。
市長さんも罹患されたと全国的に報道されましたが、山形県ではまん延防止等重点措置適用指定の解除を国に求め、認められたのです。
罹患数は増えている状況でしたが、年齢層が飲食関係からのものでは無いとの判断で有ったようです。

ワクチン接種をしていない保育年齢の児童から拡大していることは、症状が伴わないことも有り、非常に怖いことです。

高熱が唯一の症状でそれも一時期に限られるとなると、ウイルスを持っている児童がそれをばら撒いて動いていることになるわけです。

感染は拡大するばかりということになります。

ましてや、まん延防止が外れたとなると、世間的にはある種の安心感に繋がるような気持ちになってしまうのではないかと危惧するところです。



ワクチン接種3回目が始まっています。
コロナに感染しない為にも、あるいは移さないためにも接種出来る方々は、早めに受けるようにしましょう。
ワクチンの副反応よりも、罹患した後の後遺症の方がとても怖いことであると考えて下さい。



北京での冬のオリンピックも終了しました。
我が国の選手の日ごろの努力で、沢山のメダルを獲得することが出来、今後の活躍にも期待しておりますが、開会前からの中国選手へのパワハラ問題やロシアのドーピング問題など、灰色で覆われた物も噴出し、スポーツの祭典というきれいな事では処理できない部分の解決が今後に残された課題の一つになったようです。
平和の祭典が、国家間の紛争やスキャンダルで汚されることは、なくすようにしなければならないでしょう。

コロナ感染症の終息を願いつつ、春爛漫の季節を待ちましょう。